

平成30年度

都市農地活用実践ゼミナール 開催案内

都市農地の保全・活用のあり方についての理解と知識を深める

■日時：平成31年2月14日（木）13:00～17:00
（受付12:30～）

■会場：損保会館大会議室（東京都千代田区神田淡路町2-9）

□■ 新制度によってひろがる都市農地活用の可能性 ■□

<第1部 新しい都市農地制度の整理と動向>

Seminar
1

「新しい都市農地制度とその活用ポイント」

<講師> 小谷 俊 哉（一般財団法人都市農地活用支援センター 主任研究員）

Seminar
2

「制度改正による都市農業・農地利用の主体の拡大と多様化」

<講師> 塩 澤 誠一郎 氏（株式会社ニッセイ基礎研究所
都市政策シニアリサーチャー）

<第2部 今後の都市農地利活用に關する先行的事例>

Seminar
3

「都市農業を一步先へ、もっと生産緑地を！」

<講師> 佐 藤 忠 恭 氏（川崎市都市農業振興センター農地課）

Seminar
4

「都市農業への新規就農」

<講師> 大 神 辰 裕 氏（株式会社アンドファームユギ 代表取締役）

Seminar
5

「都市の中に農を創る～農を介した多様な主体による地域コミュニティづくり～」

<講師> 大 橋 南海子 氏（株式会社まちづくり工房 代表取締役）

■定 員 150名 ■参加費 4,000円（学生 2,000円）

■申込方法 当センターWEBサイト入力フォームよりお申込み下さい。参加費は事前振込となります。
（e-mail 又は FAXでお申込の場合、参加申込書をWEBサイトよりダウンロードし、所定事項を記載の上、下記連絡先宛にお送り下さい）

■申込締切 平成31年2月7日（木）

■主催・連絡先：一般財団法人 都市農地活用支援センター 普及部
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル 4階
HP URL <http://www.tosinouti.or.jp> e-mail: moushikomi@tosinouti.or.jp
tel: 03-5823-4830 fax: 03-5823-4831

■後援：全国農業協同組合中央会

申入入力フォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S8851825/>



■プログラム及び講師プロフィール等

13:00	開会 (12:30～開場・受付開始)
第1部	＜新しい都市農地制度の整理と動向＞
13:10 ～14:10 Seminar 1	<p>「新しい都市農地制度とその活用ポイント」</p> <p>生産緑地法の改正による地区指定の延長、都市農地の貸借円滑化法の成立等により、都市農地を活用・保全するための新たな手立てが講じられた。そこで一連の新たな制度の解説および活用上の留意点など、ポイントとなる部分について、各地の活用動向と合わせて紹介する。また、三大都市圏特定市と他の一般市における違い等についても解説する。 【小谷俊哉】一般財団法人都市農地活用支援センター・主任研究員、都市農地活用保全アドバイザー、技術士</p> 
14:15 ～14:45 Seminar 2	<p>「制度改正による都市農業・農地利用の主体の拡大と多様化」</p> <p>制度改正によって可能となること、それに関わる主体について、民間事業者等考える参入の可能性を展望しつつ、今後の都市農業と農地の利活用の方向を整理する。 【塩澤誠一郎氏】株式会社ニッセイ基礎研究所・都市政策シニアリサーチャー、技術士 都市計画、土地・住宅政策を専門領域に官公庁等の受託調査研究を数多く手がけ、近年は都市農業とまちづくりをテーマに執筆や講演活動に取組む。著書に「2022年問題に警鐘を鳴らす」(「研究員の眼」2015.6)、「生産緑地法改正と2022年問題」(「ニッセイ基礎研レポート」2017.5)、他。</p> 
第2部	＜今後の都市農地利活用に関する先行的事例＞
15:00 ～15:20 Seminar 3	<p>「都市農業を一步先へ、もっと生産緑地を！」</p> <p>生産緑地指定要件の緩和等を実施し、都市農地の活用に取り組む神奈川県川崎市の具体的な事例を紹介する。 【佐藤忠恭氏】川崎市経済労働局都市農業振興センター農地課保全係において、生産緑地の実務に従事。</p> 
15:25 ～15:55 Seminar 4	<p>「都市農業への新規就農」</p> <p>東京・八王子の農地を舞台に、多様な経歴を持ったメンバーが既存の農業の常識に囚われない発想によって新規就農を果たした。「稼げる農業づくり」「農業を通じた交流」を両輪に、今後は生産緑地の活用も視野に入れた持続可能な都市農業の形を模索する、その取り組みを紹介する。 【大神辰裕氏】株式会社アンドファームユギ・代表取締役 福岡県糸島市出身。福岡県農業大学卒業後、福岡の実家で農業をやるのではなく、あえて上京、2013年2月に仲間とともに株式会社FIOを設立(2018年、現社名に変更)。「農業はキツくて儲からない」というイメージを「楽しくて、儲かる！」に変えるべく奮闘を続けている。</p> 
16:00 ～16:50 Seminar 5	<p>「都市の中に農を創る～農を介した多様な主体による地域コミュニティづくり～」</p> <p>生産緑地農家が区画整理手法を使って農地を積極的に残す試みとしての「都市の中に農を継承するまちづくり」(調布市国領北浦地区)、地域住民主導型の滞在型体験農園「飯山クラインガルデン農楽校(のらっこ)」(厚木市)、農園利用者の参画・協働によるクラブライフ型体験農園「みその農園クラブ」(さいたま市)等、農家や地域住民による農を介した地域コミュニティづくりの事例を紹介する。 【大橋南海子氏】株式会社まちづくり工房・代表取締役、工学博士、都市農地活用保全アドバイザー、技術士 都市農地の保全・利活用・管理に関する研究をライフワークとし、首都圏をフィールドとした農地の多面的機能の活用とその実現に向けた制度・手法の検討、及び農家と都市住民の相互交流ネットワークの構築などに取組みながら、持続可能な都市農地の在り方を模索している。</p>
17:00	閉会



会場：損保会館 大会議室 千代田区神田淡路町2-9 TEL.03-3255-1299

JR中央線・総武線 御茶ノ水駅 聖橋口徒歩5分 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B2出口徒歩3分
JR総武線・山手線 秋葉原駅 電気街口徒歩5分 東京メトロ丸の内線 淡路駅 A5出口徒歩3分
都営地下鉄有楽町線 小川駅 A5出口徒歩3分

■ その他

- 「都市農地とまちづくり」(第73号)
本ゼミナールにも関係する都市農業・都市農地に関する動向や取組みを掲載。当センターホームページよりダウンロード可能。
URL: <http://www.tosinouti.or.jp/>
- 車椅子等、受講に際し配慮が必要な方はご相談ください。

